

八戸市の八戸学院大学短期大学部（杉山幸子学長）は2025年度、幼児保育学科に3年コースを新設する。保育士資格と幼稚園教諭2種免許状を最短で取得できる従来の2年コースのカリキュラムを、3年間でゆとりを持って学ぶことができ、アルバイトや部活動などとの両立がしやすくなる。3年コースでは小学校教諭2種免許状が取得できる玉川大学（東京）の通信教育課程の受講も可能で、就学前教育と小学校教育の両方に通じた人材の養成を目指す。

幼児保育学科に3年コース

海道では初めて。学生の経済的事情や、八学大の運動部に参加する短大生の増加、社会人の学び直しに対する関心の高まりなどに対応し、学びの選択肢を増やした。授業が朝から夕方まで行われる2年コースに対し、3年コースは基本的に午前中で授業が終わり、午後は学生それぞれの目標やライフスタイルに合わせた活動ができる。両コースの学費負担はほぼ同額という。在学中、2年から3年へのコース変更は可能だが、逆の変更はできない。

八学大短大部 来年度

バイト・部活 両立しやすく

小学教諭免許取得も可能

また、玉川大の通信教育課程「小学校教員養成特別プログラム」は3年コースの学生のうち、1年次の成績が一定基準に達し、意欲が認められた学生が2年次から受講可能。別途費用がかかる。八戸市などでは、子どもたちが幼稚園・保育園などの生活から小学校生活に円滑な移行ができるよう、「幼保小連携」に力を入れている。杉山学長は「八戸地域の保育や幼児教育の現場で学んだ学生が同地域で小学校教員になった場合、地域の実情に合わせた教育に対応できる」と期待を示した。

（千葉真由美）